

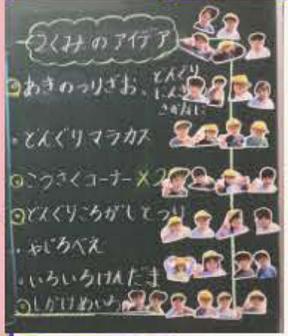
今日の授業をさらに深く見るための3ポイント

by 架け橋事務局



子ども主体の授業

「学びの必然性のある単元デザインと評価の一体化」という研究テーマのもと、生活科の授業においても子どもの意見を大切にしながら取り組まれており、子どものワクワクを生む単元構想が練られています。今日の授業は12/15時間目。子どもの問いやつぶやきを引き出す授業を積み上げてきての、今日の授業です。どのように子どもたちが主体的におもちゃ作りに臨んでいるか、ご覧ください。



冊子p4参照



相手意識 & 目的意識

就学前児童施設との交流活動は、児童が幼児期の生活を振り返りながら自らの成長を実感できることから、効果的だと考えられています。今日の授業ではコラボレーションを重点項目に。異年齢間での交流の価値を高める工夫や、おもちゃ作りを通して相手の思いを取り入れ試行錯誤することに主眼が置かれています。

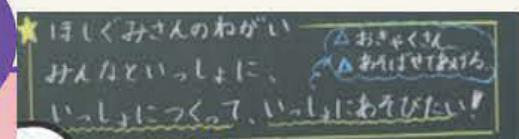


冊子p33、34参照



探究的な学びの素地に

今日の授業は、今日1時間で完結するイベント型の行事ではありません。1年生は、自分たちとほし組さんの思いをもとにおもちゃ作り計画を立てており、作り方を調べたり、材料を集めに行ったりしながら今日を迎えています。自分たちで試行錯誤しながらおもちゃを作り上げて行ったり、ほし組さんの願いを聞きながら作ったり遊んだりする様子から、子どもたちがどのようなことを学んでいるのか、ぜひお考えいただきながらご覧ください。



冊子p16、17参照



架け橋チャット

ところで事務局では、モデル校区の様子やコンパス作成のヒントになりそうな事例をGoogleチャットやまなViVa!で発信しています。ぜひご覧ください!



まなViVa!

